



とびっくす

No.51

(本誌はホームページでもご覧いただけます。<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

隠岐・西ノ島の浜にイカの大群がやってきた

本誌「とびっくす No.41」で一昨年（平成 21 年）1 月の夜間に隠岐郡西ノ島町の観光名所である由良比女神社前の浜辺「イカ寄せの浜」にスルメイカが大挙して押し寄せることを紹介しました。今シーズンは、同誌「No.50」で紹介したように、スルメイカの南下回遊経路が隠岐諸島周辺海域にあたったことから JF しまね浦郷支所（西ノ島町）では豊漁が続きました。スルメイカ漁が例年にない豊漁とあって、ひょっとしたら浜へ押し寄せるのではないか、という期待をしていたところ、今年に入り、2 回ほど浜への大量来遊がありました。

冬季スルメイカの群が大量に湾奥部の浅瀬に押し寄せる現象を「寄りイカ」とよんでいます。過去 5 年の漁獲量と寄りの回数との関係（表）をみてみますと漁獲量が少なかった平成 21 年にも浜へやってきており、漁獲量の多寡と浜への来遊には大きな関係は無いように思えます。

隠岐諸島における寄り現象が起こる要因としてはスルメイカの生態的特性と地形的、海洋的特性とが指摘されています。生態的特性としては以前ご紹介したとおり交接行動が原因の一つとして考えられていますが、後者の要因についてはどうでしょうか。

この浜が面する由良湾は浦郷湾の奥に位置します。周辺の海岸線は V 字形に窄まった上に屈曲しており、海底が峡谷に似ていることがわかります（図中赤線で示す）。浦郷湾は約 50m の最深部から浜に向けて漸次浅くなっていますが、由良湾に入ると水深 30m から 10m 位まで急峻に立ち上がった後は浜に向かって緩やかな勾配が続く遠浅の地形となっています。また過去の知見によると、浦郷湾の湾奥域の海水はふだんは停滞しているが、風、気圧変動、内部波などの何らかの原因で時として生ずる大きな流れによって海水交換がおこなわれていると考えられています。

寄り現象はスルメイカに限らずソデイカ、キュウリエソ、時にはイルカなどにもみられ、ある条件で集団化した生物が海水の流動によって湾奥部に駆集させられて最終的に陸上にまでうちあげられるのでしょう。海底形状が魚介類を浜へ誘う進入路になっていると考えられ、定置網のように一



写真. イカ寄せの浜へ押し寄せたスルメイカを捕まえ、逃げないように浜沿いの国道へ放置.

表. 寄りの回数とスルメイカ漁獲量との関係

年\事象	寄り現象の回数	1~2月漁獲量(トン)
平成18年	1	127
平成19年	確認なし	59
平成20年	確認なし	81
平成21年	1	48
平成22年	確認なし	36
平成23年	2	865

※寄りの回数は水技センター栽培漁業部の聞き取りによる。

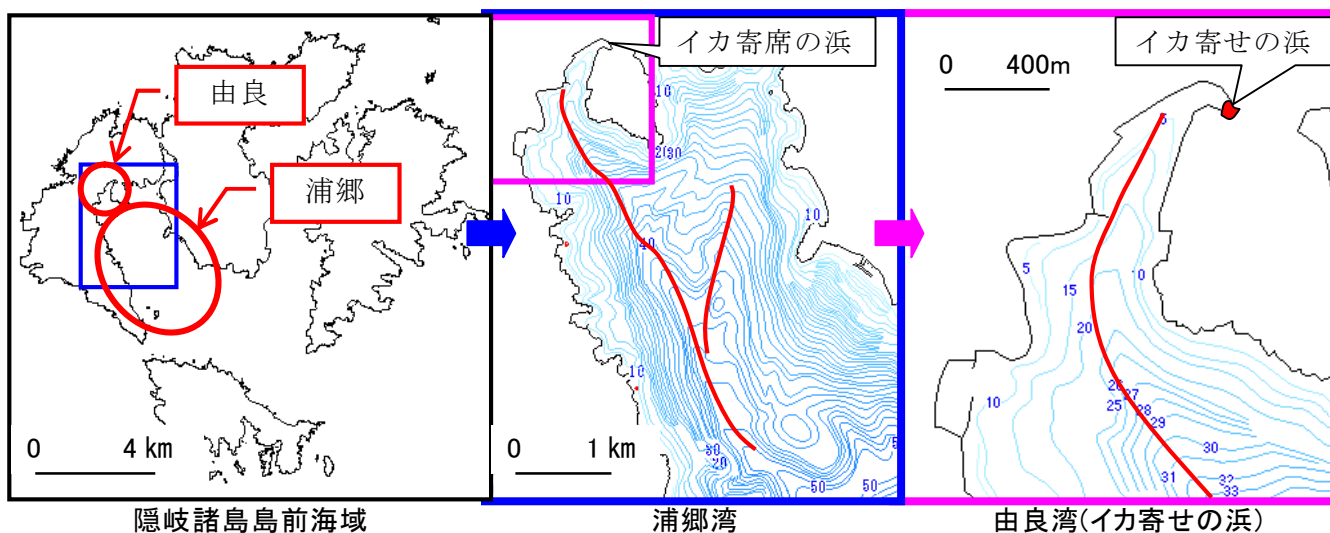


図. イカ寄せの浜沖合の等深線(数字は水深 m、赤線は峡谷を示す).

度入ったら簡単に出られない海岸地形になっていることが寄り現象が生起するための重要な条件のひとつと思われます。

スルメイカが浜へ頻繁にやって来たのは昭和 30 年代までで、近年の来遊回数は減少傾向にあります。この浜は西ノ島町の名所で、町がイカと密接な関係にあることの象徴でもあり、この現象が今後も末永く続いて欲しいものです。

【編集後記】

平成 23 年 3 月 11 日に起きた東北関東大震災で亡くなられた多数の方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

震災発生から時間が経過するにつれその被害の甚大さに言葉を失うばかりで、水産業に関連する施設の損害も目を覆うような惨状です。一刻も早い復興のため一人ひとりができる支援活動を行っていくことが必要と考えます。

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp